

## 令和2年度 第2回赤穂海浜公園管理運営協議会 議事録

日 時：令和2年9月28日（月）14:00～16:00  
場 所：赤穂海浜公園オートキャンプ場会議室  
出席者：別添 出席者名簿参照  
配布資料：資料1 赤穂海浜公園管理運営協議会開催要綱  
資料2 第1回協議会で出された意見と対応  
資料3 魅力アップ計画アクションプランと今後の検討課題  
資料4 イベント募集チラシ  
資料5-1 ホームページ  
資料5-2 利用ルール・手続き  
資料5-3 イベント募集に係るコロナ対策  
資料6 チラシ・HP・ルールに関する意見と対応  
資料7-1 「魅力アップ計画」アクションプランで提言された方策  
資料7-2 「一体的な広報」と「情報発信の強化」の現状、問題点、  
課題、方策  
資料7-3 赤穂海浜公園の広報の現状  
資料7-4 イベントカレンダー  
資料7-5 想定している直接営業先の候補  
資料8 広報に関する意見と対応

### 1 開 会／事務局

開会挨拶 光都土木事務所長

3月13日にこの協議会を設置し、地域や企業、団体、大学等との連携強化の取り組みについて議論をいただき、イベント募集にかかるわかりやすいチラシを作って、ルールや手続きを明確にして公園を活用したイベントを募集するというようにしていた。しかし、その後、コロナの感染拡大が広がり、4月7日から5月21日まで兵庫県では、政府の緊急事態宣言が発令され、赤穂海浜公園においては、わくわくランド、オートキャンプ場を休業といったコロナ対応を行った。現在はすべての施設で営業を再開している。様々な活動を自粛せざるをえないような状況になっていたということで、イベント募集の開始がのびのびになっていた。ようやく第2波も少し落ち着き、活動制限の緩和とともに、経済活動を再開し始めており、いよいよ10月1日からイベント募集を開始しようということにしている。

また、公園においても魅力アップ計画に基づいて整備していた未就園児向け遊具の一つである芝生滑り台を10月1日から供用開始することになっている。

本日はイベント募集にかかるチラシやホームページ、ルールや手続きのご確認をいただくことにしている。加えて、魅力アップ計画で課題とされている広報・情報発信の強化についても、ご検討いただきたいと思っている。コロナ対策という仰々しい中での会議になるが、本日はよろしくお願ひします。

会長挨拶

引き続き管理運営協議会開催するにあたり所長からのご挨拶にもあったように、大規模イベントは中止とかいろんな制約がある。一方で、平日の昼間の公園の利用の数は逆に増えていたりする。ダメな時はダメであるが、こういった広い場所で健康的に楽しく過ごすというふうなニーズはなくなることはない。これから働き方も変わっていく中で、いろんな時間帯、いろんな日にいろんな使い方使

えるような公園に生まれ変わっていくということが改めて求められるのではないかということはこのコロナ禍の中で痛感している。昨年度皆さんに、ご意見いただいた魅力アップ計画を進めていく中で少しずつこれからの新しい生活シーンもあわせながら、赤穂海浜公園を生まれ変わらせていきたいのでよろしくお願い致します。

## 2 赤穂海浜公園管理運営協議会について／事務局

### (1) 管理運営協議会開催要綱の変更／事務局

- ・資料1を説明

### (2) 第1回協議会での意見等／事務局

- ・署名いただいた第1回協議会議事録の公表を予定
- ・資料2を説明

## 3 議事

### (1) R2年度検討課題の選定について

- ・資料3を事務局が説明し、アクションプランの課題のうち「広報情報発信の強化」を検討事項に追加したい旨を伝え、協議会で承認された。

### (2) 地域や企業・団体、大学等との連携強化

- |                 |         |
|-----------------|---------|
| ①イベント募集チラシ      | 資料4、資料6 |
| ②ホームページ         | 資料5-1   |
| ③利用ルール・手続き      | 資料5-2   |
| ④イベント募集に係るコロナ対策 | 資料5-3   |

事務局説明

## 意見交換／各委員からの主な意見と事務局の回答

### 委員

(イベント等で)いろんなところから、朝早くに車で来られる方がいるが、地元としては何もわからない。車の渋滞で何があるのかという感じである。イベントをすることは賛成だが、何か手を打たないと地元としては迷惑である。

### 事務局

一番大きいのは市で開催している花火大会で、渋滞を起こしてご迷惑をおかけするという場合があった。ただ、何もしていない訳ではなく、開催にあたっては警備員を多数配置したり、駐車場の入場ゲートを複数あけて、混雑を解消するよう努力もしている。しかし、一時にドッと来られると渋滞してご迷惑をおかけするような場合もあった。

### 委員

大きなイベントだけではない。地元としては、自動車の往来に注意をしないと、出られない。

### 会長

1,000人ぐらいのイベント等でも、そういうことが起きる。一緒に何かをするという直接の連携もそうだが、持続的に地元迷惑をかけずに続けるというためにも、周知していただければと思う。

委員

事前にわかっているならば、回覧で知らせておけば問題ない。

会長

同じことで違う見方をすると、1,000人ぐらいのイベントであれば、お金儲けにならないかもしれないが、トライアスロンする時に、何も食べるものが公園内がないので、せめて周りで食べていただくための何かを配るとか、キッチンカーや屋台で、カレーを販売したという地元の方がいれば商売もできる。このように何か地元の活性化につながるようなことができるのであれば、そういった情報を商売される方にも周知することは必要ではないか。

事務局

どのように地元住民の方に知らせるか、これは非常に難しい話で、チャンネルがないとうまくいかない。せっかく協議会で皆さんに来ていただいているので、チャンネルの整理をしていただければと思う。

委員

こういう情報があると連合会長に連絡してもらえば、回覧等で周知できる。

事務局

大きなイベントについては、早めに計画している場合が多いので、どこにどのように連絡したらいいか事前に調整させていただく。特に渋滞を起こすような大きなイベントについては、早めにお知らせをしていく。

委員

今の関連で、もう一つ、非常に多くの人があるようなイベントで地域にとって災害的な人出のイベントの場合、防災メールとかで伝える手段が赤穂市にあるか。そういう市とか、行政から市民に、一斉送信のメールで伝えるような仕組みがあるのであれば、それで出すことを考えてもいいのでは。

会長

地元に対しては直接渡した方がよい。

委員

自治会はその方がよいと思う。ただ、もっと個人個人にすぐに伝わるという点では、そういうのを使えばいいと思う。

もう一つ、公園のホームページに、何月何日に何人規模でこんなイベントがありますという、イベントカレンダーを出しておけば、飲食などの商売をしたい人は、そういうところに自分からアクセスして、積極的に動きに行けると思う。わざわざ伝える必要がないチャンネルに対しては、何人規模のイベントが何時あるという情報を随時出しておけばよい。

会長

市と県の広報一体化を見据えながら、すぐに出せるものは積極的にホームページや地元の回覧を活用して周知していくことでお願いします。

委員

公園でできることできないことのところで、文言がわかりにくいのでわかりやすい言葉にできないか。

会長

もっと写真を多く入れ、こんなこともできるのかという写真を載せるようにすれば良いと思う。

委員

確認になるがキッチンカー、ガスコンロ等と書いているが、これは露店ができるということか。

**事務局**

そうである。営利目的の出店も申請を出して許可をとれば可能である。

**会長**

今までは、県から呼びかけられた場合はできるというイメージがあったが、県が主催するイベントでなくても、やりたい人が主催してやるというのがどんどんできることになる。

**委員**

天体観測と書いてあるが、今の時間制限をなくして夜中開けるということか。

**事務局**

そういうことも考えたい。何でもダメというのではなく、相談していただければ、極力広く受けようというのが狙いである。

**会長**

集客するための広報はみんな頑張るが、こんなイベントを実施しましたというのはあまり周知していない。今後は、こんなことをしてもいいとか、こんなことができるということを周知するため、終わってからの広報というのが非常に大事になってくる。

### (3) 広報・情報発信の強化

①魅力アップ計画アクションプランで提言された方策 資料7-1

②「一体的な広報」と「情報発信の強化」の現状、問題点、課題、方策  
資料7-2、資料8

・事務局説明

#### 意見交換／各委員からの主な意見と事務局の回答

**委員**

資料7に戻るが、例えば、イベントの時にタピオカを売ろうとすると、どこに店を出したらいいのか考えたいが、地図がないので検討できない。

**委員**

どこに出したらいいのか考える際に、写真が少なく文字ばかりで、イメージが持てないので困る。また、結婚式ができますと言われても、どこでできるのかとなる。地図を載せて、大体この辺りでなにごとができますと示さないとわからない。また、水道や電気がここにあるといった、インフラの利用出来る場所を示した地図も必要である。

**会長**

具体的に考えると、水や電気を使った時にお金を取るかの、無料で使い放題なのかで、コンプレッサーや発電機の準備が変わる。最初は設備が使いやすいところからということになると思う。

**事務局**

水や電気等のインフラ整備については、魅力アップ計画アクションプランのハード整備の中に位置づけられているが、現時点では整備できてない。遊具の整備を先行しているのでその次になる。

**会長**

当面は特に、場所が限られるということか。

**委員**

今は、はっきりとインフラがないことを明示する必要がある。今後は、募集チラシ等、随時修正をしながら出していくと思うが、インフラ設備が整っており、できる場所があるなら、ここではこれができますとか条件を示す必要がある。

委員

このような状態で、今のチラシや利用ルールでできること等をHPなどに掲載しても、実際に実施しようとした時に、まだインフラ設備ができないとなれば、やめておこうかとなる。ここの整備は大事なところである。

委員

オートキャンプ場でも、①火気の使用、②物品の販売ができるのか。

事務局

イベントチラシの募集条件のところで、対象場所3の(3)で赤穂海浜公園内のエリアで有料施設のところは除くと記載している。

委員

わかりにくい。

委員

みんな読まないのだから、地図を載せるべきである。

委員

キャンプ場が公園なのかどうかというのも、利用者からすれば分からない。公園でできることと書いてあれば、キャンプ場も入っていると思う。地図でこの範囲でできることなどを示しておかないと勘違いしてややこしくなってしまう。

委員

できることできないことで、細かなことまで網羅的に書くことはできないので、どこでできるかという具体的なことは、一緒に相談に乗りますみたいなことを書いておいた方がいい。

会長

できないことはできないとはっきりと示すことが大事である。

出店について、事務局がいろいろ調整しないといけないのは大変なので、どんなイベントかパッと分かって、各自判断できるようにイベントカレンダーに記載したらいいのでは。

委員

イベントカレンダーに出店リストを出せるようにしたらいい。

会長

芝生滑り台も幼稚園が来られますと書いていけば、この日は混んでいるから行くのをやめようとか、勝手に判断してもらえる。

委員

イベントの予定があるのにコンビニで(食べ物を)買って来て、もったいないことをしたという経験があるので、イベントされる方にはその辺の周知をしっかりとやってもらうほうがいいと思う。

事務局

イベント募集して開催する場合、そういったところを調整して、情報として何を出していかないといけないか検討していきたい。

会長

いろんな情報が集まってくるのでカレンダーは極力シンプルにし、3者(公園・海洋科学館・オートキャンプ場)がそれぞれ更新できるようにしたほうがいい。こちらの手間も省きながら、すぐ新しい情報を出す。載せられる情報はポンポンと出して、すべてのホームページのカレンダーに同じ情報が反映されるようなこと

が今は簡単にできる。

その他後半、広報先について連絡先や誰がやっているのか分からないようなところと、どのようにつなぐか、つなぎ方とか何かあるか。

委員

SNSしかないのでは。

会長

事務局がリストを持ってとかではなく、SNSでつながっていくしかない。

委員

今はハッシュタグをいっぱいつけていくような形で、しないとダメである。

会長

これをするのは指定管理者の方がするのか。

事務局

そうなるが、非常に人員が限られているので、できることできないことがある。

委員

応援隊が昔あったが今はないのか。

事務局

昔使い隊があったが、非常にご高齢の方が多くて最近解散した。

委員

若い人で募集してみてもどうか。SNSに情報あげてくれれば、キャンプ場を無料にするとか乗り物券をあげるとかすれば、いくらでも更新してくれると思う。

事務局

やり方は検討したい。

委員

公園の職員があげるのではなく、SNSというのは、他の人にあげてもらって広報するというやり方である。

事務局

インスタグラムとかに写真を撮って発信している方がいらっしゃるので、そういった方が撮った写真をフォトコンテストで募集するようなイベントを行っており、結構応募していただいている。わざわざ撮りに来るのではなく、自分で撮った写真を自分のSNSにあげられているものを送ってもらうというようなやり方であった。

委員

SNSの更新が月1回で、びっくりするほど少ない。これはものすごく向き不向きがあり、向いている人にしてもらわないと、全然進まない。ここで撮影した写真やフォトコンの写真SNSで上げてくれる人が多くいるなら、それは全部リツイートしないといけない。SNSで他の人と有機的につながり盛り上げていかないとSNSをやる意味がない。今日、公園で夕日が綺麗でしたみたいな何でもない情報でいいので、毎日発信していくことが大事である。

委員

(資料7-2のイの(イ)方策に関して)SNSにあげれば乗り物無料券配布ではなく、人の少ない時にハッシュタグで「赤穂海浜公園」と付けた画面を見せ、乗り物の係員が確認したら無料にする。そうすれば手間もかからず、人の少ない時に利用してもらえるのではないか。

事務局

公園の収益があるため、どこまでできるか難しい問題であるが、今後検討していきたい。

**委員**

閑散期によくやる戦略としては、SNSに上げてもらうと3日間無料とか。それは広告費がかからない宣伝になる。今はそういうやり方が主流である。

**会長**

今まで自分たちでできなかった広報がすごくできていい。それで、集客もできて人も来る。効果としては、地元の人が出店して地元にお金落ちる可能性もある。ただ、直接的には駐車場収入が減り、厳しいところがあるが、効果を全体で見てぜひとも検討をお願いします。

**事務局**

方法について、いろいろ検討しないといけないと思っている。事務的な話だが、わくわくランドは公園・園芸協会の他に民間事業者が3業者入っている。乗り物によっては、民間事業者が運営しているものがあるので、事業者の収益といった問題もあり、調整が必要であるということもご理解いただきたい。

**委員**

資料8の⑧の提案で、無料キャンペーンのような機会があれば、記者発表して新聞等に出してはどうか。タウン誌はこういうのを必ず載せてくれる。お金をかけずに載せてもらえるところをどんどん利用するためにも、記者発表等をしっかりやるほうがよい。

**会長**

その他よろしいですか。ないようでしたら、これで議題は全て終わりましたので事務局に進行を返します。

#### 4 その他 / 事務局

##### (1) R2年度の施設整備予定等について / 事務局

- ・参考資料2～4を事務局説明
- ・次第に記載はないが、赤穂海浜公園のリノベーション計画について県庁公園緑地課より参考資料5説明

##### (2) 次回開催について / 事務局

- ・来年度は2月末頃の開催予定で1月末に日程調整表を行う。

令和2年9月28日(月)に開催された令和2年度第2回赤穂海浜公園管理運営協議会議事録については、上記の通りであると認め署名する。

議事録署名人

会長

吉澤 宏樹

委員

山中 若二

(別添)

## 第2回赤穂海浜公園管理運営協議会 出席者名簿

令和2年9月28日(月)

赤穂海浜公園オートキャンプ場会議室

| 区分            | 所属等                      | 氏名     | 出欠                    |
|---------------|--------------------------|--------|-----------------------|
| 学識者           | 兵庫県立大学 教授<br>(人と自然の博物館)  | 赤澤 宏樹  | 出席                    |
|               | 兵庫県立大学 准教授<br>(淡路景観園芸学校) | 澤田 佳宏  | 出席                    |
|               | 関西福祉大学 准教授               | 山本 浩二  | 出席                    |
| 地域団体          | 御崎地区連合自治会 会長             | 亀井 義明  | 出席                    |
|               | 尾崎地区連合自治会 会長             | 目木 敏明  | 出席                    |
|               | 地域活動連絡協議会 会長             | 岩崎 由美子 | 出席                    |
|               | 赤穂観光協会 事務局長              | 安田 哲   | 欠席                    |
|               | 赤穂市漁業協同組合 参事             | 平田 一典  | 出席                    |
| 指定管理者         | (公財)兵庫県園芸・公園協会<br>総務部長   | 五明田 禎久 | 出席                    |
| 行政機関<br>(赤穂市) | 観光監                      | 西浦 万次  | 出席                    |
|               | 教育委員会 教育次長               | 長坂 幸則  | 出席                    |
| 行政機関<br>(兵庫県) | 県土整備部まちづくり局<br>公園緑地課 課長  | 戸田 克稔  | 代理 公園緑地課<br>副課長 首藤 健一 |
|               | 西播磨県民局光都土木事務所<br>所長      | 八木下 徹  | 出席                    |

下線部はR1からの変更箇所

## 事務局

|                   |                |       |  |
|-------------------|----------------|-------|--|
| 指定管理者             | 赤穂海浜公園管理事務所 所長 | 高田 直隆 |  |
|                   | 赤穂海浜公園管理事務所 参事 | 荻野 直哉 |  |
|                   | 赤穂海浜公園管理事務所 参事 | 圓見 文明 |  |
|                   | 赤穂海浜公園管理事務所 参事 | 尼崎 佳三 |  |
|                   | 赤穂海浜公園管理事務所 課長 | 小坂 真也 |  |
| 西播磨県民局<br>光都土木事務所 | 管理課 課長         | 小原 孝彦 |  |
|                   | 港湾課 課長         | 柴崎 和人 |  |
|                   | 港湾課 課長補佐       | 大谷 朝俊 |  |
|                   | 港湾課 職員         | 塩濱 裕也 |  |

## オブザーバー

|     |          |       |  |
|-----|----------|-------|--|
| 赤穂市 | 海洋科学館 館長 | 古津 和也 |  |
|     |          |       |  |